

Change'14
& *Challenge*

UNITIKA

2014年3月期 第2四半期決算説明会



2013年11月15日

ユニチカ株式会社

1. 2014年3月期第2四半期決算概要

- ・業績の概要
- ・営業利益変動要因分析
- ・資産・負債・純資産

2. 各事業セグメントの状況

- ・高分子事業の状況
- ・機能材事業の状況
- ・繊維事業の状況
- ・その他の状況

3. 2014年3月期通期業績予想

- ・2014年3月期通期業績予想
- ・セグメント別業績予想

補足資料

- ・トピックス
- ・事業構成
- ・各事業セグメントの概要
- ・トップシェア・シェア優位事業

1. 2014年3月期第2四半期決算概要

- ・業績の概要
- ・営業利益変動要因分析
- ・資産・負債・純資産

2. 各事業セグメントの状況

- ・高分子事業の状況
- ・機能材事業の状況
- ・繊維事業の状況
- ・その他の状況

3. 2014年3月期通期業績予想

- ・2014年3月期通期業績予想
- ・セグメント別業績予想

補足資料

- ・トピックス
- ・事業構成
- ・各事業セグメントの概要
- ・トップシェア・シェア優位事業

業績の概要

衣料繊維でやや減収となったものの、高分子を中心に販売数量が回復し全体では増収。

原燃料価格の上昇をコストダウン等によりカバーし増益。

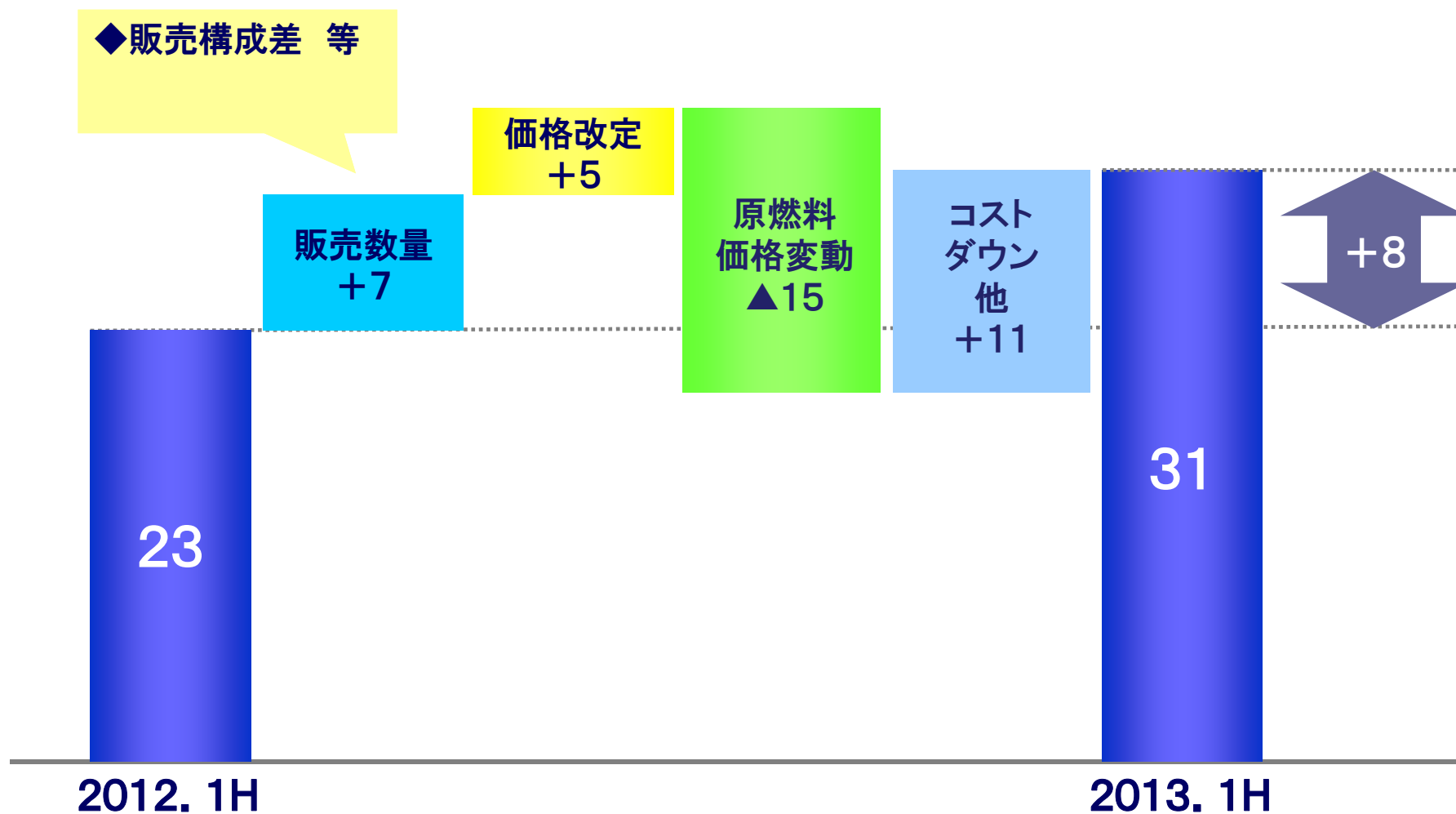
円安ドル高により、外貨建て資産の為替差益を計上。

連結合計 (金額単位:億円)	2012. 1H 実績	2013. 1H 実績	前期比	
			金額	率
売上高	762	783	22	3%
営業利益	23	31	8	35%
経常利益	5	23	18	362%
当期純利益	▲9	16	26	—

セグメント別 (金額単位:億円)	2012. 1H 実績	2013. 1H 実績	前期比	
			金額	率
売上高	762	783	22	3%
高分子事業	306	325	19	6%
機能材事業	70	72	1	2%
繊維事業	329	325	▲4	▲1%
その他	57	61	5	8%
営業利益	23	31	8	35%
高分子事業	34	32	▲2	▲7%
機能材事業	5	9	4	86%
繊維事業	▲3	▲1	2	—
その他	2	5	3	135%
消去・全社	▲14	▲13	2	—

営業利益変動要因分析

(金額単位:億円)



資産・負債・純資産

(金額単位:億円)	2013年3月末	2013年9月末	増減
資産合計	2,551	2,610	+59
流動資産	1,003	1,053	+50
固定資産	1,548	1,557	+9
負債合計	2,337	2,369	+32
純資産合計	213	240	+27
株主資本	187	203	+16
その他の包括利益累計額	▲ 9	▲0	+8
少数株主持分	35	37	+2
有利子負債	1,665	1,738	+72
自己資本比率	7.0%	7.8%	+0.8%

1. 2014年3月期第2四半期決算概要

- ・業績の概要
- ・営業利益変動要因分析
- ・資産・負債・純資産

2. 各事業セグメントの状況

- ・高分子事業の状況
- ・機能材事業の状況
- ・繊維事業の状況
- ・その他の状況

3. 2014年3月期通期業績予想

- ・2014年3月期通期業績予想
- ・セグメント別業績予想

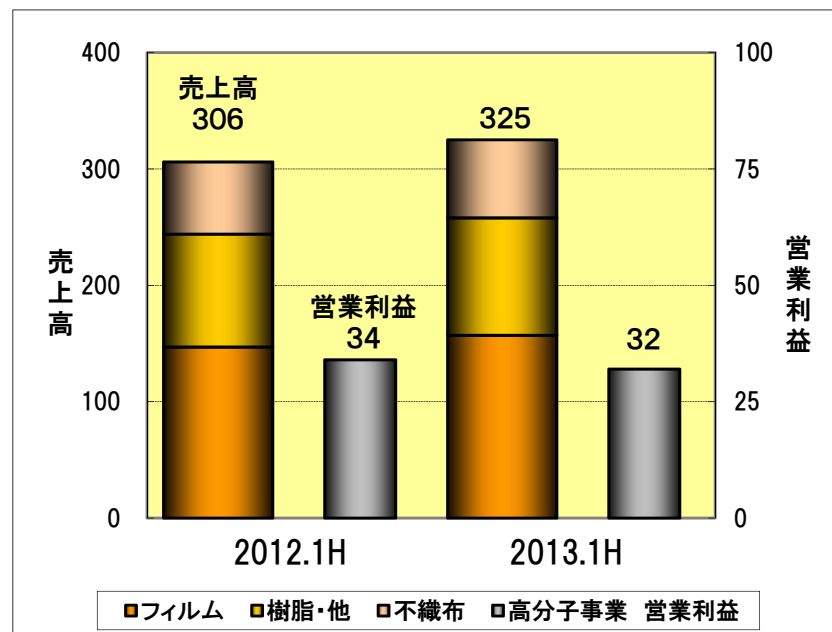
補足資料

- ・トピックス
- ・事業構成
- ・各事業セグメントの概要
- ・トップシェア・シェア優位事業

高分子事業の状況

需要回復で増収となるが、価格改定効果発現のタイムラグがあり減益

(金額単位:億円)	2012. 1H	2013. 1H	増減
高分子事業 売上高	306	325	19
フィルム	147	157	10
樹脂・他	97	101	4
不織布	62	67	5
高分子事業 営業利益	34	32	▲2



□フィルム [増収・減益]

◆ 包装分野

市場の在庫調整が一段落し、緩やかな需要の回復局面に移行し販売数量が増加。

◆ 工業分野

ポリエステルフィルムは電気・電子機器用途の回復の遅れにより、販売数量が減少。

◆ 原燃料価格上昇に伴う価格改定を実施するも効果発現までのタイムラグがあり減益。

□樹脂・他 [増収・増益]

◆ ナイロン樹脂

自動車用途が堅調に推移。

◆ ポリアリレート樹脂「Uポリマー」

スマートフォンなどの情報端末機器用途が堅調。

◆ ポリエステル樹脂他

環境配慮型の水性エマルジョン「アローベース」の拡販が進展。共重合ポリエステル「エリーテル」は情報端末機器用途が堅調。

□不織布 [増収・増益]

◆ ポリエステルスパンボンド

除染廃棄物仮置場用ガス透過性防水シート「エルベスキャッピングシート」の受注増、輸出の採算が改善。

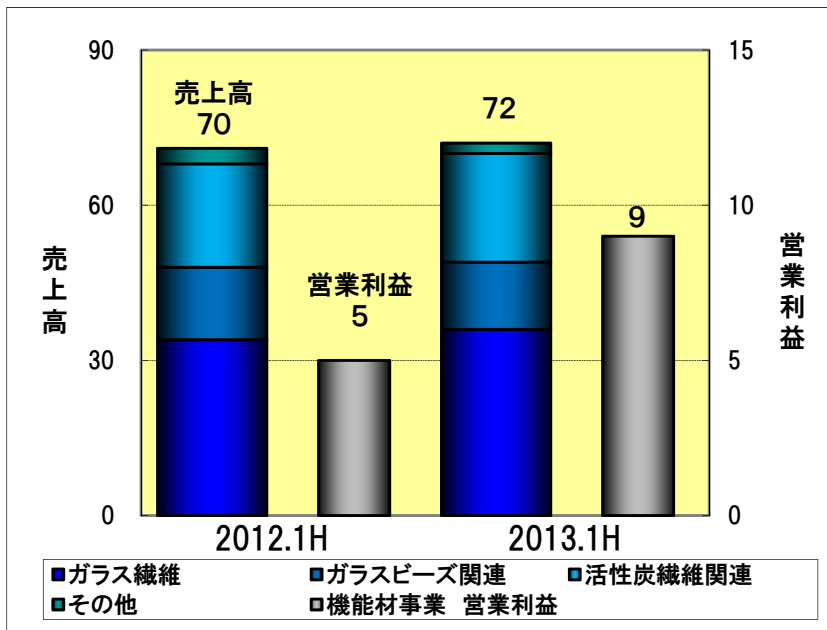
◆ コットンパンレース

猛暑の影響でウェットシート用途が回復。

機能材事業の状況

需要が回復し堅調に推移

(金額単位:億円)	2012.1H	2013.1H	増減
機能材事業 売上高	70	72	1
ガラス繊維	34	36	2
ガラスビーズ関連	14	13	▲1
活性炭繊維関連	20	21	1
その他	3	2	▲1
機能材事業 営業利益	5	9	4



□機能材 [増収・増益]

◆ ガラス繊維・産業資材分野
建築・土木改修用途は堅調に推移。
その他の用途でも需要は回復基調へ。

◆ ガラス繊維・電子材料分野
ICクロスはスマートフォン用途への超薄物タイプ販売強化により販売数量が改善。

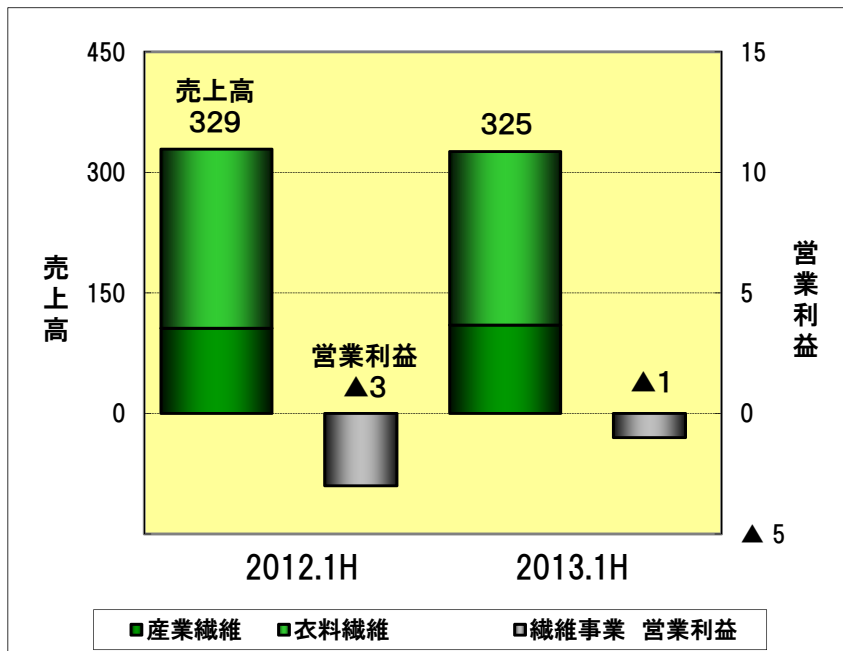
◆ ガラスビーズ
工業用途の市況回復により、販売数量が拡大。
ロードマーキング用途も需要回復し増収。

◆ 活性炭繊維
浄水器用途、廃液処理用途や自動車用途などの需要が回復し堅調に推移。

繊維事業の状況

産業繊維、衣料繊維ともに一部の用途でやや苦戦するも収益は改善

(金額単位:億円)	2012. 1H	2013. 1H	増減
繊維事業 売上高	329	325	▲4
産業繊維	106	110	3
衣料繊維	223	216	▲7
繊維事業 営業利益	▲3	▲1	2



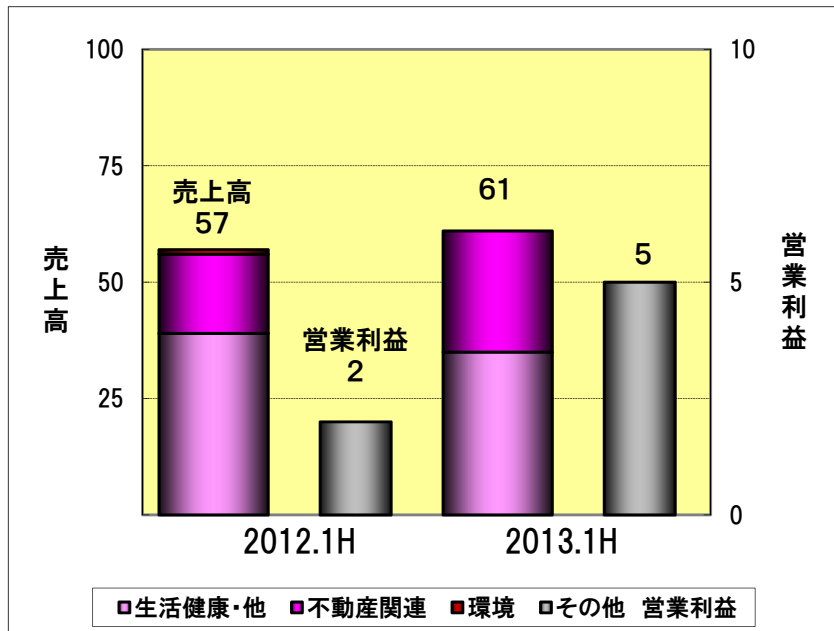
□ 繊維 [減収・増益]

◆ 産業繊維
 ポリエステル高強力糸は、主力の建築・土木用途が市況回復の遅れ、競争激化などにより低調に推移。ポリエステル短繊維は、輸出を中心に需要増加し収益が改善。
 ビニロン繊維は、アスベスト代替FRCで新興国での拡販で受注は増加。主要販売先である欧州の市況は依然低迷。

◆ 衣料繊維
 ユニフォーム分野は、白衣・サービスユニフォーム用途が引き続き堅調だが、ワーキング用途が在庫調整局面へ。
 スポーツ・レディス分野は、高付加価値品の販売が堅調に推移。

不動産事業・メディカル事業ともに堅調に推移

(金額単位:億円)	2012. 1H	2013. 1H	増減
その他 売上高	57	61	5
生活健康・他	39	35	▲3
不動産関連	17	26	9
環境	1	0	▲1
その他 営業利益	2	5	3



□その他
[増収・増益]

- ◆ **メディカル**
カテーテルは、新製品の拡販が奏功し売上げが伸長。酵素は欧州向け輸出が回復、診断薬は国内向けの売上げが伸長。
- ◆ **生活健康**
健康食品「白幻鳳凰」や機能性食品原料ラクトビオン酸、アラビノースは堅調に推移。
飼料原料やセラミドを中心とした食品原料は低調。
- ◆ **不動産関連**
マンション販売は堅調に推移。

1. 2014年3月期第2四半期決算概要

- ・業績の概要
- ・営業利益変動要因分析
- ・資産・負債・純資産

2. 各事業セグメントの状況

- ・高分子事業の状況
- ・機能材事業の状況
- ・繊維事業の状況
- ・その他の状況

3. 2014年3月期通期業績予想

- ・2014年3月期通期業績予想
- ・セグメント別業績予想

補足資料

- ・トピックス
- ・事業構成
- ・各事業セグメントの概要
- ・トップシェア・シェア優位事業

2014年3月期通期業績予想

成長戦略の推進、コストダウンなどにより予想値を達成する

(金額単位:億円)	2013年3月期 実績	2014年3月期 予想	前期比 増減
売上高	1,602	1,650	48
営業利益	55	75	20
経常利益	39	40	1
当期純利益	▲109	20	129

下期与件	2014年3月期
原油(\$/バレル)	100
為替(円/\$)*	100

* 期中の為替変動には適宜対応し進捗をフォロー。

◆ 事業環境は、エネルギーコストの上昇や中国の景気減速懸念が依然残るなど、先行きが不透明な状況で推移しているが、高分子事業を中心に成長戦略の推進を図るとともに、改善の兆しが見えつつある低採算事業の一層の収益改善を行い、公表数値を最低目標として収益の確保に努める。

- 主力のフィルム、樹脂、不織布の各事業は、差別化品の拡販や海外展開の加速などにより販売数量増を目指す。
- 低採算事業については、一層のコストダウンなどで収益改善を図る。

セグメント別業績予想

(金額単位:億円)	売上高			営業利益			主な利益変動要因(想定)と下期見通し
	2013年 3月期 実績	2014年 3月期 予想	前期比 増減	2013年 3月期 実績	2014年 3月期 予想	前期比 増減	
高分子事業	612	675	63	70	71	1	価格改定による効果が収益に反映。 環境配慮型水性エマルション「アローベース」の拡販。 除染廃棄物仮置場用ガス透過性防水シート「エルベス キャッピングシート」の需要増加。
機能材事業	141	145	4	12	16	4	情報端末機器用途を中心に高付加価値ICクロスの拡 販。 活性炭繊維は、浄水器用途などで底堅い需要を維持。
繊維事業	677	665	▲12	▲4	8	12	産業繊維は、セメント補強用途アスベスト代替用FRC ビニロンの海外展開強化。 衣料繊維は、中国に加えアセアン地域での販売強化。
その他	172	165	▲7	13	11	▲2	不動産関連の収益伸長など。
消去・全社				▲36	▲31	5	
合計	1,602	1,650	48	55	75	20	

1. 2014年3月期第2四半期決算概要

- ・業績の概要
- ・営業利益変動要因分析
- ・資産・負債・純資産

2. 各事業セグメントの状況

- ・高分子事業の状況
- ・機能材事業の状況
- ・繊維事業の状況
- ・その他の状況

3. 2014年3月期通期業績予想

- ・2014年3月期通期業績予想
- ・セグメント別業績予想

補足資料

- ・トピックス
- ・事業構成
- ・各事業セグメントの概要
- ・トップシェア・シェア優位事業

バイオマス由来高耐熱ポリアミド「XecoT／(ゼコット)」 中量産設備増強(年産500トンへ)



特長

- 世界最高レベルの諸物性
耐高熱&低吸水性、耐薬品、耐摩耗など
- 独自製造プロセス
高効率&高品質(分岐少→ゲル生成少)
- 非可食バイオマス由来原料使用
バイオマス度50%以上



◆ 電気・電子材料分野や自動車分野などへの採用を想定している「XecoT／ゼコット」の中量産設備増強が決定。’14年夏に年産500トン体制を計画。

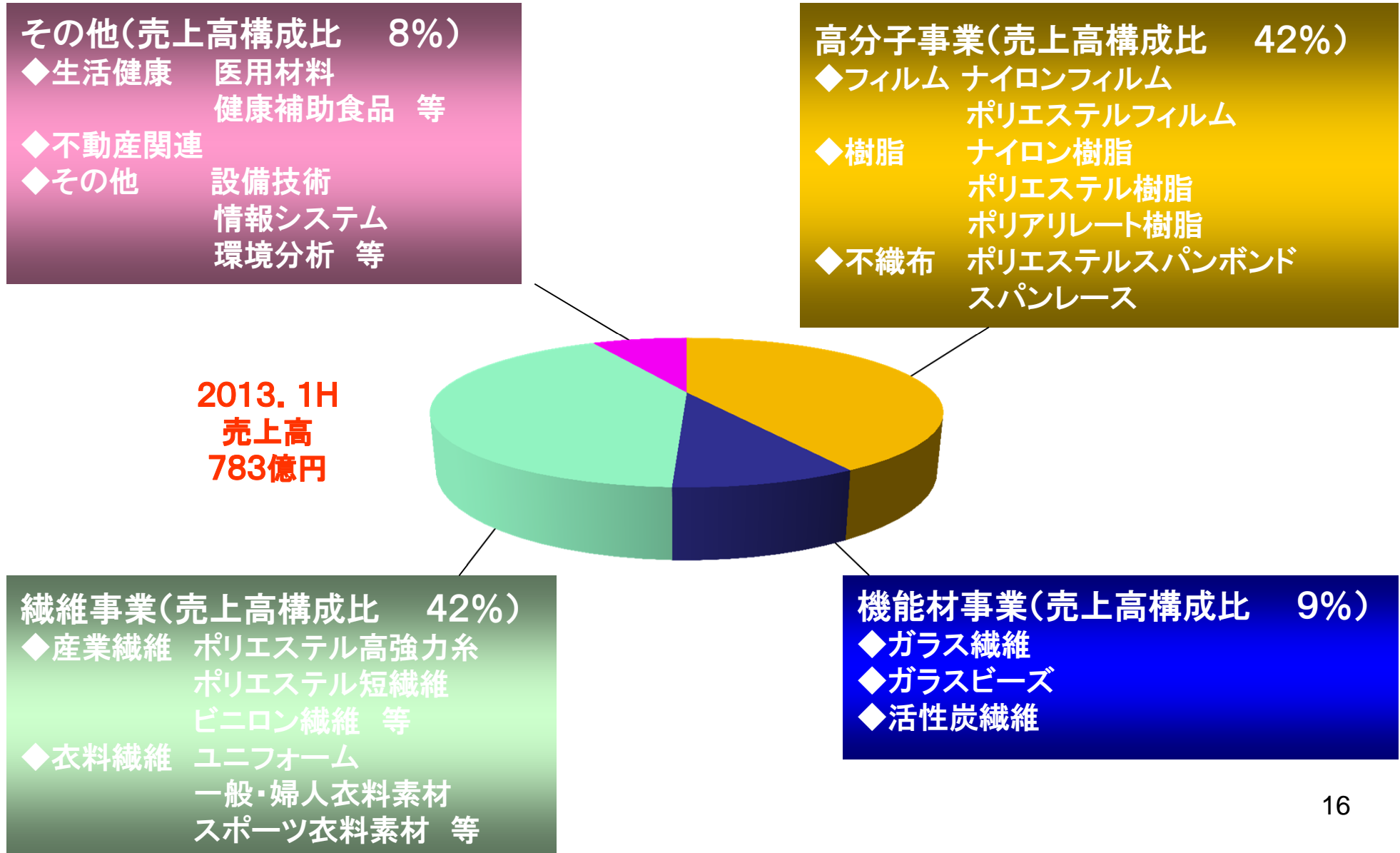
◆ 設備増強により量産技術を確認し、’15年以降での年産5,000トンレベルの増強を目指す。



写真はイメージです。



事業構成



	フィルム	樹脂	不織布
主要製品 (用途)	<p>包装</p>  <p>工業</p> 	 <p>自動車部品</p>   <p>精密機器</p>	 <p>カーマット基布</p>  <p>生活雑貨</p>  <p>エルベスキャッピングシート</p>
	<p>◇ナイロンフィルム ◇ポリエステルフィルム</p>	<p>◇ナイロン樹脂 ◇ポリエステル樹脂 ◇ポリアリレート樹脂</p>	<p>◇ポリエステルспанボンド ◇コットンспанレース</p>

	ガラス繊維	ガラスビーズ	活性炭繊維
主要製品 (用途)	 <p>車両電照カバー</p>  <p>ICクロス (プリント配線基板用)</p>  <p>防水用・床材用ガラスクロス</p>	 <p>ロードマーキング</p>	 <p>活性炭繊維フィルター</p>

繊維事業の概要

	産業繊維	衣料繊維
主要製品 (用途)	 <p>産業資材用 ポリエステル繊維</p>  <p>ビニロン繊維 (セメント補強用途)</p>  <p>放射線遮蔽防水シート</p>	 <p>ユニフォーム</p>  <p>婦人衣料</p>  <p>スポーツ衣料</p>
	<p>◇ポリエステル高強力糸 ◇ポリエステル短繊維 ◇ビニロン繊維</p> <p>等</p>	<p>◇ユニフォーム ◇一般・婦人衣料素材 ◇スポーツ衣料素材</p> <p>等</p>

<p>主要 製品 (用途)</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>抗血栓性 カテーテル</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>創傷被覆保護材 ベスキチン</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>健康補助食品</p> </div>	 <p>マンション事業</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>ヒーティング システム</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ソフトウェア設計</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>放射能測定</p> </div>
		<p>◇生活健康 医用材料、健康補助食品 等</p>	<p>◇不動産関連</p>

トップシェア・シェア優位事業



※シェアは当社推定

	製品	国内 シェア	主な用途	当社の強み
高分子	ナイロンフィルム	50%弱 (1位)	食品包装用 (世界シェア1位)	同時二軸延伸技術 クイックデリバリー
	ポリエステルスパンボンド	40% (1位)	自動車内装、建築、土木 農業資材、衛生材料、生活資材	複合繊維化技術
	コットンスパンレース	60% (1位)	衛生材料、生活雑貨	バインダーレス 天然素材の風合い
	ポリアリレート樹脂	当社 独自	自動車部品、電気・精密機器部材	耐熱性・透明性
機能材	ガラスクロス(産業用)	30% (2位)	フィルター素材、FRP用、建築 土木資材	製織・製織技術
	ガラスビーズ	35% (2位)	各種反射材、工業用ビーズ	商品の品揃え
繊維	ポリエステル短繊維(バインダー)	60% (1位)	建材、家具、自動車内装向け不織布原料	複合繊維化技術
医用材料	ブラッドアクセスカテーテル	30%弱 (1位)	緊急時血液透析および血液浄化	抗血栓性素材

ご注意

本資料中の予想は、現時点における将来の経済環境予想等の仮定に基づいております。実際の業績は、今後の種々の要因によって異なる結果となる可能性があります。